

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> ：一般国道444号 佐賀福富道路	<b>事業区分</b> ：地域高規格 (有明海沿岸道路)	<b>事業主体</b> ：佐賀県	
<b>起終点</b> ：自：佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原 至：佐賀県杵島郡白石町大字福富		<b>延長</b> ：10.5km	
<b>事業概要</b> ：有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市までの有明海北部沿岸地域の都市と重要港湾三池港や有明佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である。当道路は、県都佐賀市と県西部地域とを相互に連絡する骨格道路としてきわめて重要である。			
H13年度事業化	都市計画決定 無し	用地未着手	H13年度着工準備
全体事業費	635億円	事業進捗率	1.1% 供用済延長 0km
計画交通量	42,800台/日		
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 2.7 B/C (残事業) 2.8	総費用 (残事業/事業全体) 414/422億円 事業費：408/416億円 維持管理費：7/7億円	総便益 (残事業/事業全体) 1,148/1,148億円 走行時間短縮便益：978/978億円 走行費用減少便益：105/105億円 交通事故減少便益：65/65億円
<b>感度分析の結果</b>	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.5 (交通量+10%) B/C=3.0 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.6 (事業費+10%) B/C=3.0 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.3 (事業期間+5年) B/C=3.7 (事業期間-5年)		
<b>事業の効果等</b>	円滑なモビリティの確保（第三種空港へのアクセス向上） 国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路） 他4項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>	佐賀市から鹿島市までの沿線市町や県議会議員及び商工会等で構成する有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）による要望活動が行われている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>	佐賀福富道路の先線である福富鹿島道路が整備区間に指定（平成17年3月）。 有明佐賀空港で全国で2例目となる夜間貨物便（～東京羽田空港）が就航（平成16年7月）。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>	環境影響評価書の手続き完了に向け、現在、鋭意調整中（平成18年4月完了予定）。 事業化後、円滑な事業進捗が図られるよう、沿線地元住民を中心に説明会を実施している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>	平成18年度より、嘉瀬南IC～久保田ICを中心に用地買収及び工事に着手する予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b>	地盤特性を的確に把握し、効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。		
<b>対応方針</b>			
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。